

日米友好のハナミズキ

都立園芸高に植樹
寄贈から100年祝い

旧東京市による米国への桜寄贈の返礼として日本に贈られたハナミズキが国内で唯一残っている東京都立園芸高校(世田谷区)で十日、寄贈から百年を祝う「ハナミズキ百年祭」があった。キャロライン・ケネ

ディ米駐日大使も出席し、新たに二十六本のハナミズキを植樹した写真。

米国の桜は、旧東京市の尾崎行雄市長が一九一二年に苗木を贈り、ワシントン湖畔のポトマック河畔に植えられている。米国からは一五年にハナミズキの苗木四十本が寄贈された。うち二本が園芸高校の前身校に贈られた。前身校の初代校長が米国へ寄贈した桜の育成に携わったことが縁だった。

園芸高校に新たに贈られたハナミズキは十三種二十六本。この日はケネディ大使ら三人が「スターライト」と呼ばれる新種の苗木に土をかけた。

ケネディ氏は「百年後の米国大使が皆さんの功績をたたえるだろう」と苗木の生育と生徒の活躍にエールを送った。

(松村裕子)